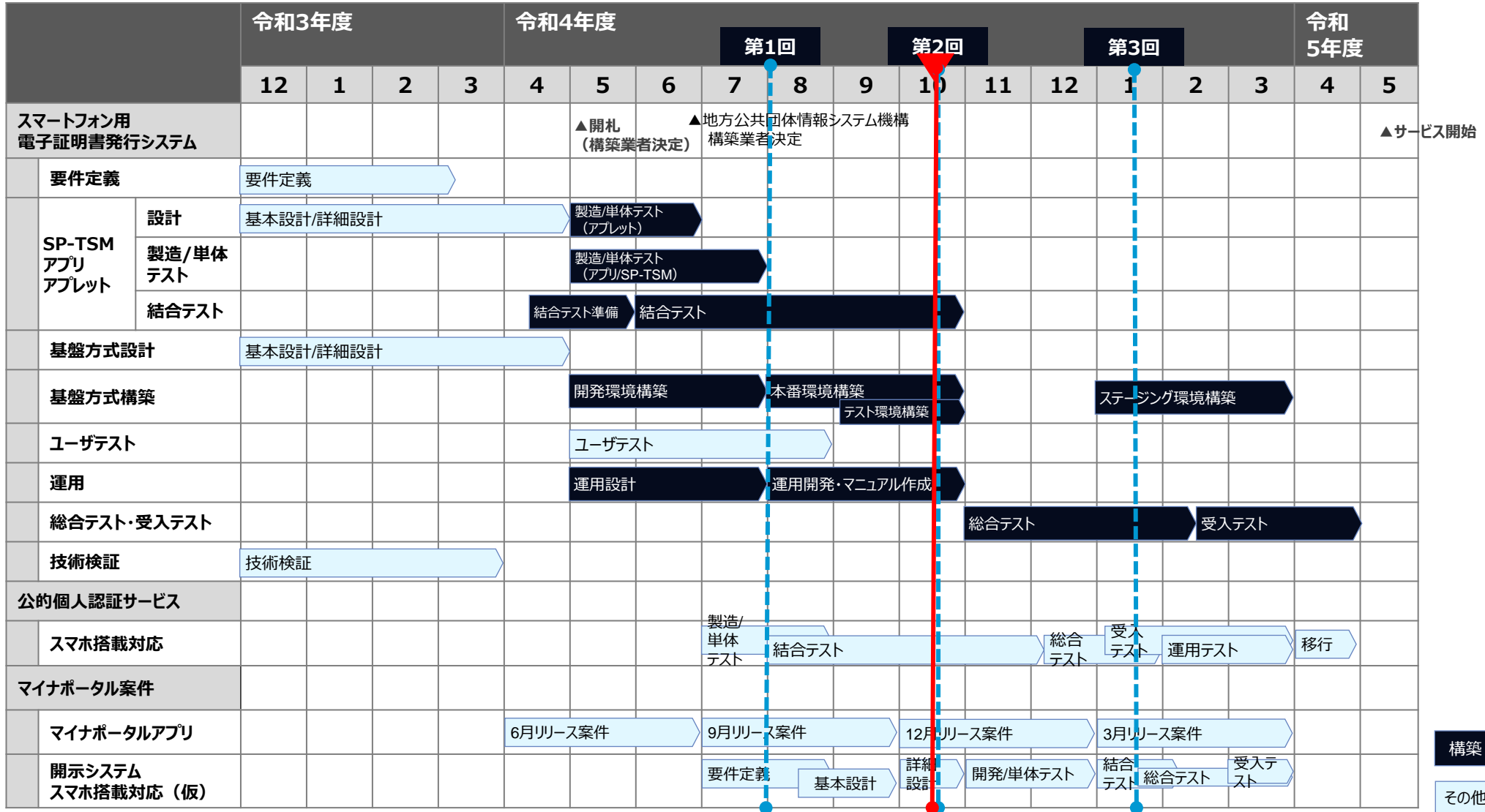


スマホ搭載の取り組み状況について

デジタル庁

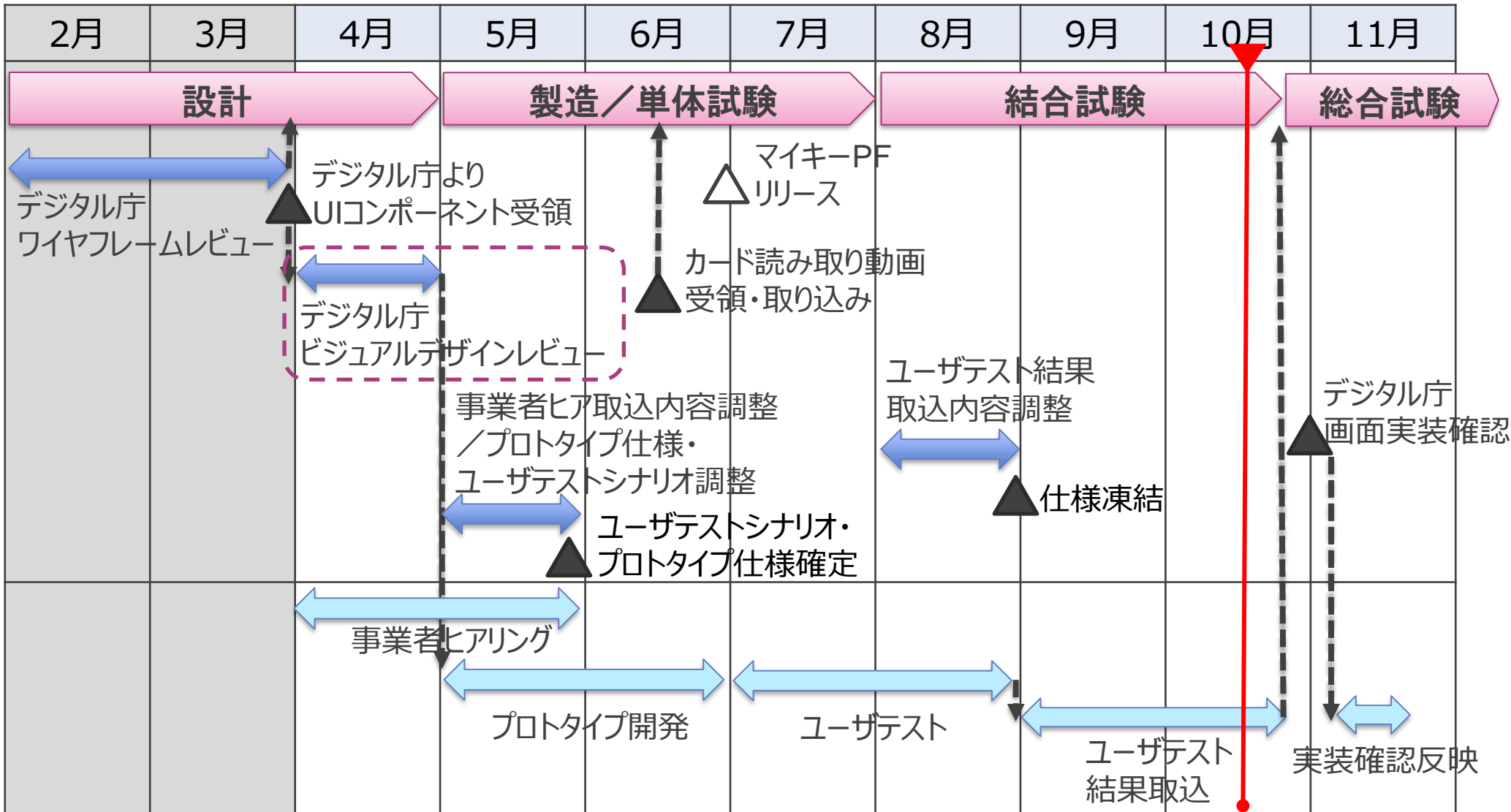
構築スケジュール

- 結合テストを実施中。11月以降、公的個人認証サービス（JPKI）の環境と接続を行い、総合テストを実施予定。
- サービス開始時期は令和5年5月11日を予定。



ユーザテストの実施スケジュール

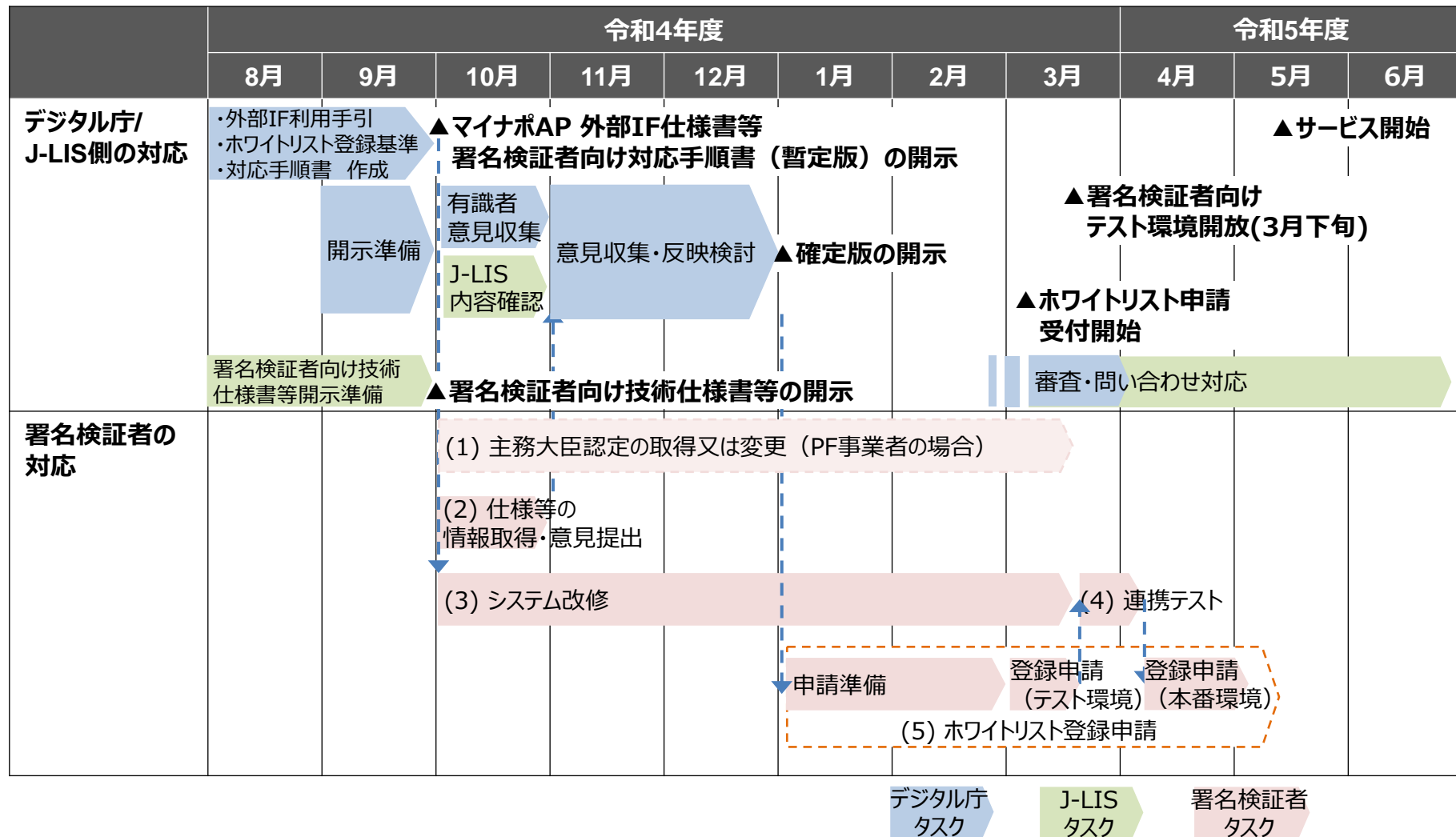
- システム構築と並行して、アプリのより良いUI/UXを実現するために、ユーザテストを実施。
- 結果取込中、デジタル庁側で最終的な画面実装確認を予定。



署名検証者の対応スケジュール

- サービス開始に向けた署名検証者の対応作業及びスケジュールについて、7～8月にかけて精緻化を行い、以下(1)～(5)のとおり整理。

署名検証者の対応スケジュール（想定）



署名検証者等向けドキュメントの情報開示及び意見照会

- 令和4年10月7日付で、署名検証者等（※）に対して、マイナポータルアプリ外部インタフェース仕様書等の情報開示をデジタル庁ウェブサイト上で実施。
- 署名検証者等及び有識者の意見照会を経て、12月末を目途に確定予定。

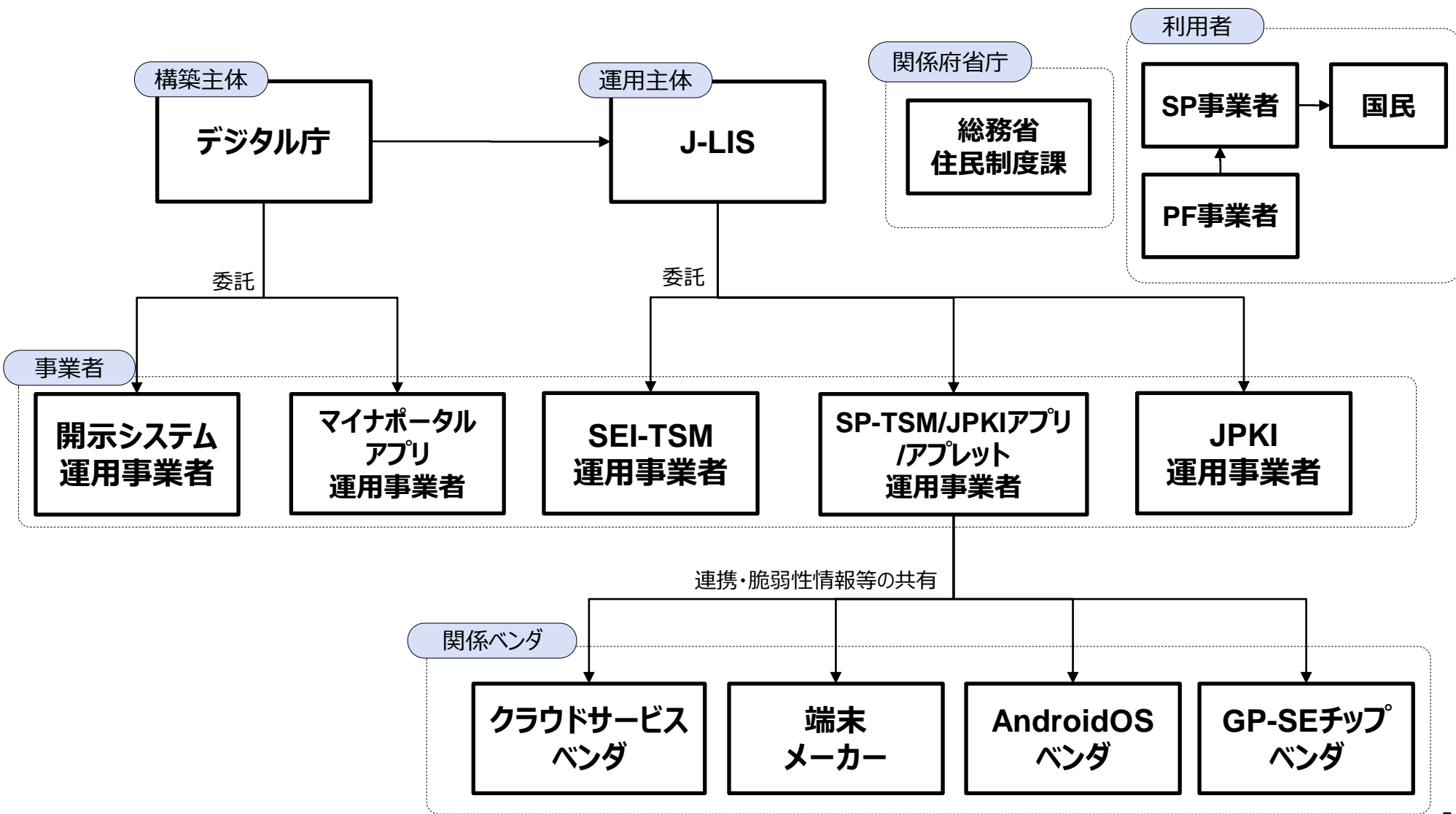
（※）情報開示の対象は以下のとおり。

- ①現在、公的個人認証サービスによる本人確認を実施している署名検証者及びみなし署名検証者
- ②現在は公的個人認証サービスを利用していないが、スマホ用電子証明書を利用した本人確認を希望する行政機関又は民間事業者

No	ドキュメント分類	概要
1	マイナポータルアプリ外部インタフェース仕様書等	マイナポータルアプリについて、スマホJPKI対応に伴う修正を行った仕様書。 <ul style="list-style-type: none">➤ 外部インタフェース仕様書➤ 電文設計書➤ 利用手引
2	公的個人認証サービス署名検証者向け技術仕様書等	公的個人認証サービスについて、スマホJPKI対応に伴う修正を行った仕様書。（署名検証者向け技術仕様書） <ul style="list-style-type: none">➤ 概要説明書➤ 失効情報、新旧紐づけ情報提供に関する仕様書➤ プロファイル仕様書
3	署名検証者向け対応手順書（暫定版）	スマホJPKI対応に必要な署名検証者の作業（システム改修、連携テスト、ホワイトリスト登録申請等）を整理した資料。

運用段階におけるステークホルダー

- 第1回検討会のコメントを踏まえ、運用段階におけるステークホルダーを整理。
- システム構築はデジタル庁、運用主体はJ-LISが担う。



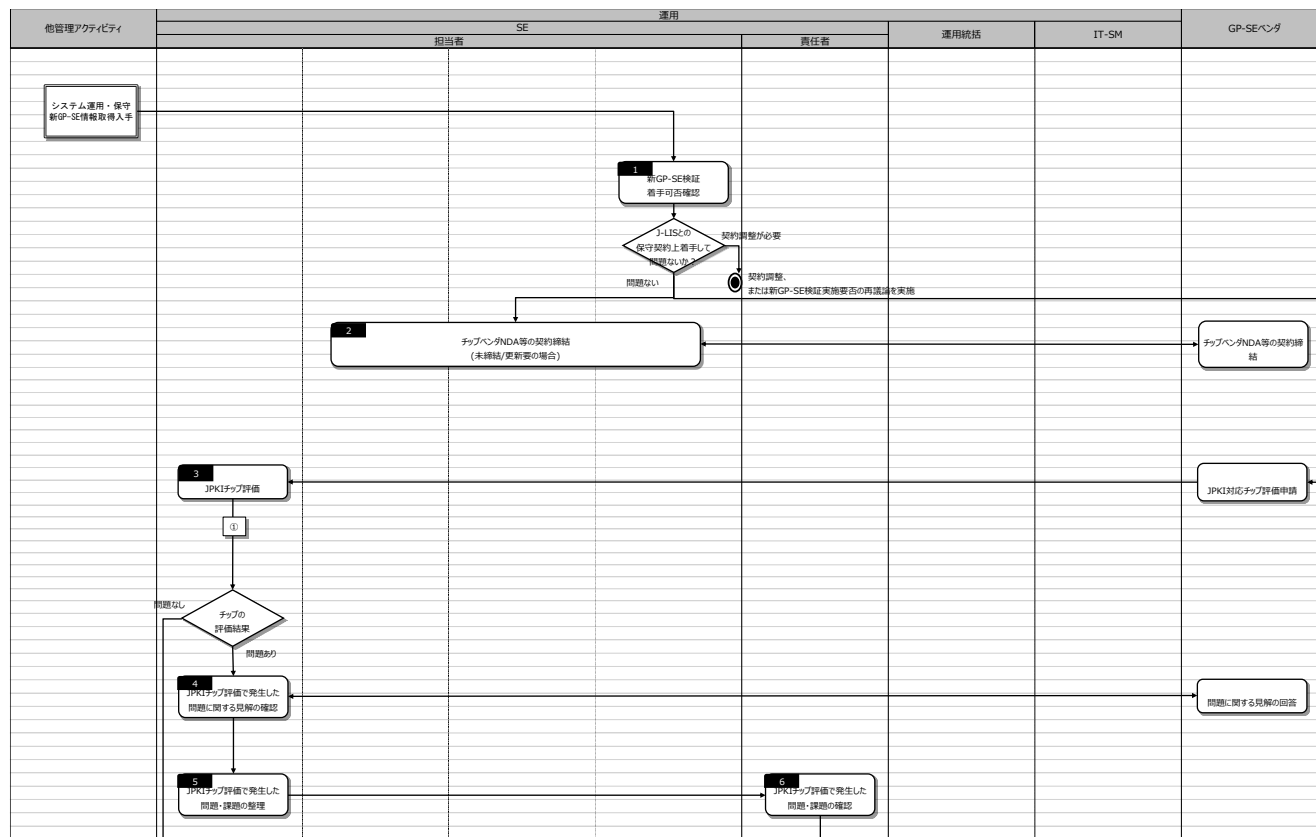
運用設計・運用仕様の検討状況

- システムの運用設計として、運用設計書、運用作業要領、運用フロー等を作成中。10月末完了予定。
- 運用設計の結果をもとに、サービス開始後の運用事業者の調達を予定。（調達仕様はデジタル庁で検討し、調達手続はJ-LISで実施予定）

作業要領の内訳

分類	ドキュメント名
運用設計書	非機能要件検討書
	サービス提供計画書
	サービスレベル管理簿
運用作業要領	インシデント管理作業要領
	リリース管理作業要領
	キャパシティ管理作業要領
	情報セキュリティ管理作業要領
	システム運用・保守作業要領
	問題管理作業要領
	変更管理作業要領
	アクセス管理作業要領
	ITサービス継続性管理作業要領
	緊急時対応手順
	運用保守設計書（マイナポータルアプリ）
	構成管理作業要領

運用フローの例（新GP-SEの検証）



SP-TSMの一部要件の変更

- システムの運用を見据え、SP-TSMの要件を一部変更する方向で調整中。主な変更点は以下のとおり。

No	分類	変更前の要件	変更後の要件
1	稼働率	99.5%	サービス提供時間として、 <u>99.9%</u>
2	障害復旧時間	可能な限り早期の復旧を目指す。 (障害の程度により、最大12時間までを許容)	原則として <u>15分以内</u> の復旧を目標とする。 ※
3	運用・保守要員の対応時間	・日中時間帯のみ対応。 ・緊急性の高い作業（障害対応等）は協議の上対応を決定。	・ <u>24時間365日</u> 対応。 ・緊急時は、対応が行える要員を、運用保守拠点に <u>2時間以内</u> に駆けつけ可能とする。

※SP-TSMはガバメントクラウドを用いることから、「クラウド責任共有モデル」に基づき、クラウドサービスの不具合等によるサービス停止は含まない。